

「大型蓄電池システム試験評価施設」の整備

1. 政策的背景

◆ 再生可能エネルギー導入増加に伴い電力システムの安定化に役立つメガワットクラスの大型蓄電池の需要拡大が予想され、さらに国内蓄電池メーカーによる輸出の増加が見込まれます。

◆ 現状では国内に試験・評価施設が整備されていないため、大型蓄電池の性能及び安全性に関するグローバルな試験・評価が行える施設として蓄電池評価センターを整備し、我が国産業の国際競争力の強化に貢献します。(平成25年度補正予算「グローバル認証基盤整備事業」(大型蓄電池))

2. 施設概観



- ◆ 計画地: 大阪市住之江区
- ◆ 敷地面積: 約26,400m²
- ◆ 建物構成:
 - 【主試験棟・副試験棟】(図左下)
 - 【管理棟兼実験棟】(図右上)(※)(※)NITE大阪の機能(製品安全センター等)が移転

平成27年3月着工、平成28年2月完成予定

3. 「蓄電池評価センター」(愛称: NLAB) 概要

NLAB: National LABORatory for advanced energy storage technologies

◆ 主試験棟 (NLAB Large Chamber)



【主な特徴】

- ・「**世界最大規模**」の恒温型チャンバー
- ・メガワットクラスの大型蓄電池の試験が可能
- ・万が一の爆発、燃焼に備えた十分な耐爆構造と排煙性能
- ・被試験体の充放電用に独自の蓄電池システムを整備

◆ 副試験棟 (NLAB Testing Facilities)



【主な特徴】

- ・大型のモジュール、盤サイズ蓄電池の各種試験(振動試験、充放電試験等)が実施可能
- ・被試験体が発火、燃焼した場合でも安全に試験が行える設計、仕様